

## 今回の具体的方策による病院事業収支及び一般会計への影響について ＜精査後基本計画からの比較＞

平成 28 年 11 月 1 日  
野洲市政策調整部地域戦略課

### 1. 本資料について

平成 27 年 10 月に、(仮称)野洲市民病院基本計画策定後の大規模な時点修正と位置付け、同計画の精査業務を行った。本業務の結果、病院の整備費用は 76 億円から 86 億円に増加したものの、病院経営の健全性の指標となる病院事業損益は「16 年目以降黒字」から「8 年目以降黒字」に改善したところである。現在、当該結果の内容をもって、総務省や県との協議を進めている。

今般、先の資料 5 のとおり、主に新病院の開院方法（二段階方式の採用）と駐車場整備の方法について、一段具体的な方策を提案したところであり、これらが病院事業の収支計画と一般会計の財政負担等に及ぼす影響額について、本資料をもって説明するものである。

### 2. 新病院開院準備の円滑化のための具体的方策に係る影響額について

#### (1) 病院事業会計の収支への影響について

新病院の円滑な開院及び運営のため、現野洲病院を一時的に使用して、「移転元の病院」として市立病院化する二段階方式を採用することにより、施設基準に係る診療報酬の通常算定による事業収支の改善が見込める。

また、野洲病院の資産等については、事業譲渡（無償）によって包括承継し、病院事業に關係するものは病院事業に出資することになるためこれに伴う収支への影響を計上する。

- 診療報酬算定の施設基準等の実績不足による減収分の皆減
- 野洲病院から事業譲渡（無償）を受けた資産等の出資額、それに伴う経費等を計上
  - 建物：現野洲病院施設の減価償却費と、新病院移転後の除却費を計上
  - 土地：現野洲病院施設の除却後の売払収入を計上（市有地含む）
  - 医療機器：無償譲渡のため、計上していた野洲病院からの買取予定額を皆減
  - 現金及び預金等：平成 30 年度末の残高予定額の換価可能な流動資産（現金及び預金、未収金等）から流動負債及び固定負債（金融機関からの借入れ残高）を控除した額を資金余剰に計上

①収益的収支（市が病院の運営を開始する H31 度から 3 年間。～H33 度まで）

	項目	説明	影響額 (千円)	備考
入	入院診療収益	診療報酬の施設基準の算定に係る実績不足に伴う減収分が、野洲病院の実績を引き継ぐことにより皆減（新病院開院初年度＝H32）	248,497	収益的収支__病院事業収益__医業収益の増加
	野洲病院敷地の売却	野洲病院施設の敷地について、市有地と無償譲渡を受けた野洲病院の所有地を、施設建物を除却後に売却する収益を計上（H33）	409,140	収益的収支__病院事業収益__特別利益の増加
	(入) 小 計		657,637	
出	野洲病院施設建物の減価償却費	一時的に使用する、無償譲渡を受けた野洲病院の施設建物に係る減価償却費を計上（H31～32）	42,274	収益的収支__病院事業費用__医業費用の増加
	野洲病院施設建物の除却	一時的に使用した施設建物を除却（解体）する費用を計上（H33）	462,460	収益的収支__病院事業費用__特別損失の増加
	(出) 小 計		504,734	
差 し 引 き (入) - (出)			152,903	

②資本的収支（市が病院の運営を開始する H31 度から 3 年間。～H33 度まで）

	項目	説明	影響額 (千円)	備考
出	医療機器の譲渡	野洲病院から無償譲渡を受けることにより、買取り予定で計上していた野洲病院の医療機器の額を皆減（H32）	△15,748	資本的収支__資本的支出__建設改良費の減少
差 し 引 き (入) - (出)			15,748	

3. 駐車場の効率的整備のための具体的方策に係る影響額について

資料5で述べたように、駐車場事業を起こし同会計で整備費を計上した場合、市の一般会計から駐車場会計に対して支払う使用料が毎年多額になるなど、市の財政に一定の負担が生じる。このことから、収支成立に影響がない範囲で整備費用を計上することができるほか、元利償還金に対する普通交付税の算入が見込める病院事業会計に駐車場関係費用を計上して整備するものとする。

(1) 駐車場施設整備費用

駐車場整備費用については、下記のとおり既存市有地の取得替え込みで約9.8億円と試算する。

(単位：千円)

区分	現計画	備考
1 用地取得費	347,780	駐車場用地の取得費
3 実施設計費	23,400	駐車場整備に係る実施設計費
4 工事監理費	9,400	
5 建設工事費	596,200	駐車場整備に係る工事請負費
合計	976,780	

(2) 病院事業会計への影響 収益的収支 (新病院開院 10 年後の平成 41 年度ベース)

	項目	説明	影響額 (千円)	備考
入	交流／商業施設利用者料金収入	交流／商業施設のテナント利用者の料金収入を計上。1 時間当たり約 8 人として計上	5,153	収益的収支__病院事業収益__医業外収益の増加
	一般会計繰入金	駐車場整備工事費に係る病院事業債の利息償還金の 50%を計上	5,987	収益的収支__病院事業収益__医業外収益の増加
	(入) 小 計		11,140	
出	諸経費	設備等保守管理費、修繕費、委託費、光熱水費等を計上	14,950	収益的収支__病院事業費用__医業費用の増加
		「病院利用者」等の駐車場使用料を病院事業会計から公営駐車場事業会計に支払うこととしていたため皆減	△12,120	収益的収支__病院事業費用__医業費用の減少
	減価償却費	駐車場施設に係る減価償却費の計上	14,928	収益的収支__病院事業費用__医業費用の増加
	病院事業債利息償還費	駐車場整備工事費に係る病院事業債の利息償還金の計上	11,975	収益的収支__病院事業費用__医業費用の増加
	(出) 小 計		29,733	
差 し 引 き (入) - (出)			△18,593	

(3) 病院事業会計への影響 資本的収支

① 新病院開院前の H29 度から～H31 度まで

	項目	説明	影響額 (千円)	備考
入	病院事業債	駐車場整備工事費に係る財源として、病院事業債を計上 (H29～31)	976,780	資本的収支__資本的収入__企業債の増加
	(入) 小 計		976,780	
出	用地取得費	土地取得特別会計で取得した土地のうち、駐車場用地を買い戻す (H29) 2,600 m <sup>2</sup> /9345.01 m <sup>2</sup>	347,780	資本的収支__資本的支出__建設改良費の増加
	実施設計費	駐車場整備に係る実施設計費 (H29～30)	23,400	資本的収支__資本的支出__建設改良費の増加
	工事監理費	駐車場整備に係る工事監理費 (H30～31)	9,400	資本的収支__資本的支出__建設改良費の増加
	建設工事費	駐車場整備に係る工事請負費 (H30～31)	596,200	資本的収支__資本的支出__建設改良費の増加
	(出) 小 計		976,780	
差 し 引 き (入) - (出)			0	

② 新病院開院 10 年後の平成 41 年度ベース

	項目	説明	影響額 (千円)	備考
入	一般会計繰入金	駐車場整備工事費に係る病院事業債の元金償還金の 50%を計上 (H41 ベース)	17,507	資本的収支__資本的収入__一般会計繰入金の増加
	(入) 小 計		17,507	
出	病院事業債元金償還費	駐車場整備工事費に係る病院事業債の元利償還金の計上 (H41 ベース)	35,014	資本的収支__資本的支出__企業債償還金の増加
	(出) 小 計		35,014	
差 し 引 き (入) - (出)			△17,507	

### ③資金余剰（市が病院の運営を開始する H31 度）

	項目	説明	影響額 (千円)	備考
	現金及び預金	野洲病院から承継する現金及び預金等のうち、H31 度時点で換価可能額を、公共施設の駐車場整備を根拠に一般会計から病院事業会計に出資する。資金余剰に計上 (H31)	290,365	資金余剰の増加

- 駐車場整備費用を計上。同整備事業費用は約 976,780 千円
- 駐車場本体の減価償却費を計上
- 整備費用の財源とする病院事業債の元利償還金を計上。また、それに対する一般会計繰入金として元利償還金の 50%相当額を計上
- 交流／商業施設のテナント利用者の料金収入を計上
- 駐車場の維持管理費として、設備保守委託費等の経費を計上。また、現計画で見込んでいた駐車場事業会計への負担金を皆減
- 野洲病院から承継する現金及び預金等のうち、H31 度時点で換価可能額を、病院で駐車場整備する場合の公共施設利用者見合い分を根拠に一般会計から病院事業会計に出資して資金余剰に計上

#### (4) 一般会計の財政負担への影響

一般会計からの病院事業への繰出金から、普通交付税の見込額を控除した額を一般会計の負担額とした場合、現基本計画と比較した影響額は次のとおりである。駐車場整備費に係る病院事業債の元利償還金に対する繰出金が増額となるため、各年度の一般会計負担額（いわゆる真水分）は、新病院開院4年目である平成35年度以降は約1,500万の負担額の増となる見込みである。

(単位：百万円)

	平成29年度 (新病院開院3年前)			平成30年度 (新病院開院2年前)			平成31年度 (新病院開院1年前)			平成32年度 (新病院開院1年目)		
	現計画	変更後	影響額									
病院事業繰出金(ア)	51	51	0	58	57	▲1	112	389	277	330	341	11
交付税算入見込(イ)	0	0	0	0	0	0	7	9	2	202	207	5
一般会計負担額(ア)-(イ)	51	51	0	58	57	▲1	105	380	274	127	134	6

平成33年度 (新病院開院2年目)			平成34年度 (新病院開院3年目)			平成35年度 (新病院開院4年目)			平成36年度 (新病院開院5年目)		
現計画	変更後	影響額									
470	475	5	470	489	19	498	524	26	545	573	28
266	268	2	265	274	8	271	282	11	292	304	12
205	208	3	204	215	10	227	242	15	253	269	16

ただし、駐車場事業会計で整備する想定では、新交流施設や文化ホール等の公益機能施設利用者の使用料として、一般会計が毎年約4,300万円を負担額する必要があったことと比較すると、病院事業会計に整備費用を計上した場合の1,500万円の負担額の増加は、結果として一般会計に毎年2,800万円の負担軽減を図ったこととなる。

#### 4. 収支計画書の変更

二段階方式の採用と駐車場を病院の付帯施設として整備することによる、現基本計画における収支計画への影響については、次のとおり。

- 病院経営の健全性の指標となる「収益的収支」は、駐車場整備費が増加したことにより病院事業損益は減少するものの、「8年目以降黒字」に変更はない。
- 実際の資金繰りの状況を示す資金余剰については、野洲病院から資産である現金を承継し、平成31年度の資金余剰に約290百万円が追加されることから、「開院2年目から黒字」から「開院後から黒字」となる。

##### (1) 収益的収支

(単位：百万円)

区分・年度	平成39年度 (新病院開院8年目)			平成40年度 (新病院開院9年目)		
	現計画	変更後	差額	現計画	変更後	差額
病院事業収益(7)	3,570	3,582	12	3,590	3,602	12
医業収益(a)	3,433	3,433	0	3,455	3,455	0
医業外収益	137	149	12	135	146	11
病院事業費用(イ)	3,545	3,576	31	3,558	3,584	26
医業費用(b)	3,283	3,294	11	3,299	3,307	8
医業外費用	263	281	18	259	277	18
医業損益(a)-(b)	150	139	△11	156	149	△7
病院事業損益(7)-(イ)	24	6	△18	32	18	△14

##### (2) 資本的収支

(単位：百万円)

区分・年度	平成29年度 (新病院開院3年前)			平成30年度 (新病院開院2年前)			平成31年度 (新病院開院1年前)		
	現計画	変更後	差額	現計画	変更後	差額	現計画	変更後	差額
資本的収入(7)	995	1,366	371	2,158	2,481	323	4,674	4,942	268
企業債	944	1,319	375	2,108	2,434	326	4,585	4,856	271
一般会計繰入金	51	47	△4	51	47	△4	89	86	△3
資本的支出(イ)	995	1,366	371	2,158	2,481	323	4,674	4,942	268
建設改良費	995	1,366	371	2,158	2,481	323	4,674	4,942	268
企業債償還	0	0	0	0	0	0	0	0	0
資本的収支(7)-(イ)	0	0	0	0	0	0	0	0	0

##### (3) 資金余剰

(単位：百万円)

区分・年度	平成31年度 (新病院開院1年前)			平成32年度 (新病院開院1年目)			平成33年度 (新病院開院2年目)		
	現計画	変更後	差額	現計画	変更後	差額	現計画	変更後	差額
資金余剰(単年度)	△23	462	485	△20	153	173	170	581	751
資金余剰(累積)	△30	452	482	△50	606	656	121	1,187	1,308

## 今回の変更による病院事業収支計画比較表

### 精査後基本計画

(単位:百万円)

3条会計【収益的収支】		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	10年目	15年目	20年目
病院事業収益 (a)		2,943	3,386	3,421	3,457	3,490	3,611	3,625	3,633
医業収益 (ア)		2,798	3,243	3,279	3,315	3,351	3,478	3,501	3,502
(内訳)	入院診療収益	1,634	2,074	2,105	2,137	2,168	2,282	2,302	2,302
	外来診療収益	776	780	784	788	792	803	805	805
	その他医業収益	203	204	204	206	206	208	209	209
	室料差額・健診 一般会計繰入金①	185	185	185	185	185	185	185	185
医業外収益 (イ)		144	143	142	141	140	132	124	131
(内訳)	一般会計繰入金②	90	90	90	90	90	90	90	90
	一般会計繰入金③	54	54	53	52	50	43	34	41
病院事業費用 (b)		3,398	3,510	3,540	3,553	3,579	3,563	3,488	3,464
医業費用 (工)		3,143	3,247	3,276	3,288	3,315	3,307	3,311	3,272
(内訳)	給与費	1,950	1,950	1,954	1,954	1,958	1,962	1,962	1,962
	材料費	369	437	442	448	453	472	476	476
	減価償却費	435	435	450	451	464	412	408	369
	その他経費	389	424	429	435	439	461	465	465
医業外費用(企業債利息等) (オ)		254	263	264	265	265	256	177	192
医業損益 (ア)-(エ)		△ 345	△ 4	3	27	36	171	190	230
減価償却費を除く		90	431	453	479	499	583	598	599
病院事業損益 (a)-(b)		△ 455	△ 124	△ 118	△ 96	△ 89	48	137	169
減価償却前損益		△ 20	312	331	355	375	460	545	538
累積損益(病院開業前経費含む)		△ 485	△ 608	△ 727	△ 823	△ 912	△ 903	△ 251	415

4条会計【資本的収支】		4年前	3年前	2年前	1年前	1年目	2年目	10年目	20年目
資本的収入 (c)		147	995	2,158	4,674	696	246	311	329
企業債		0	944	2,108	4,585	0	105	105	105
(内訳)	建設費、機器等	0	944	2,108	4,585	0	105	105	105
	情報システム更新	0	0	0	0	開院後6,11,16年目に更新			
一般会計繰入金等		147	51	51	89	696	142	207	225
(内訳)	一般会計借入金	0	0	0	0	696	0	0	0
	一般会計繰入金③'	147	51	51	89	0	142	207	225
資本的支出 (d)		147	995	2,158	4,674	696	388	518	332
建設改良費		147	995	2,158	4,674	696	105	105	105
企業債等償還金(元金)		0	0	0	0	0	283	413	227
資本的収支 (c)-(d) (e)		0	0	0	0	0	△ 142	△ 207	△ 2
資金余剰(単年度)		0	0	△ 7	△ 23	△ 20	170	253	536
資金余剰(累積)		0	0	△ 7	△ 30	△ 50	121	1,876	7,310

【再掲】一般会計繰入額		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	10年目	15年目	20年目
3条会計(収益的収支分)		330	329	328	327	325	318	309	317
4条会計(資本的収支分)		0	142	142	171	220	207	216	225
小計		330	470	470	498	545	525	525	541
【参考】交付金見込総額		202	266	265	271	292	282	282	289

### 変更後

(単位:百万円)

3条会計【収益的収支】		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	10年目	15年目	20年目
病院事業収益 (a)		3,183	3,809	3,435	3,470	3,504	3,622	3,635	3,642
医業収益 (ア)		3,029	3,243	3,279	3,315	3,351	3,478	3,501	3,502
(内訳)	入院診療収益	1,883	2,074	2,105	2,137	2,168	2,282	2,302	2,302
	外来診療収益	776	780	784	788	792	803	805	805
	その他医業収益	185	204	204	206	206	208	209	209
	室料差額・健診 一般会計繰入金①	185	185	185	185	185	185	185	185
医業外収益 (イ)		154	157	156	155	153	144	134	140
(内訳)	一般会計繰入金②	90	90	90	90	90	90	90	90
	一般会計繰入金③	62	62	61	60	58	49	39	45
病院事業費用 (b)		3,489	4,009	3,576	3,593	3,619	3,598	3,505	3,508
医業費用 (工)		3,211	3,260	3,289	3,305	3,332	3,324	3,318	3,287
(内訳)	給与費	1,950	1,950	1,954	1,954	1,958	1,962	1,962	1,962
	材料費	407	437	442	448	453	472	476	476
	減価償却費	463	457	471	476	489	427	423	383
	その他経費	390	416	421	427	431	462	457	466
医業外費用(企業債利息等) (オ)		278	286	287	288	287	274	187	221
医業損益 (ア)-(エ)		△ 182	△ 17	△ 10	11	19	155	183	215
減価償却費を除く		281	439	461	487	507	582	606	598
病院事業損益 (a)-(b)		△ 306	△ 200	△ 141	△ 122	△ 115	24	131	134
減価償却前損益		157	257	329	354	374	451	554	517
累積損益(病院開業前経費含む)		△ 166	△ 366	△ 507	△ 630	△ 745	△ 844	△ 228	296

4条会計【資本的収支】		4年前	3年前	2年前	1年前	1年目	2年目	10年目	20年目
資本的収入 (c)		58	1,366	2,481	4,942	804	243	329	350
企業債		0	1,319	2,434	4,856	105	105	105	105
(内訳)	建設費、機器等	0	1,319	2,434	4,856	105	105	105	105
	情報システム更新	0	0	0	0	開院後6,11,16年目に更新			
一般会計繰入金等		58	47	47	86	700	138	225	245
(内訳)	一般会計借入金	0	0	0	0	696	0	0	0
	一般会計繰入金③'	58	47	47	86	4	138	225	245
資本的支出 (d)		58	1,366	2,481	4,942	808	381	554	642
建設改良費		58	1,366	2,481	4,942	801	105	105	105
企業債等償還金(元金)		0	0	0	0	7	276	449	537
資本的収支 (c)-(d) (e)		0	0	0	0	△ 4	△ 138	△ 225	△ 292
資金余剰(単年度)		0	0	△ 10	462	153	581	227	226
資金余剰(累積)		0	0	△ 10	452	606	1,187	2,785	5,482

【再掲】一般会計繰入額		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	10年目	15年目	20年目
3条会計(収益的収支分)		337	337	336	335	334	324	314	320
4条会計(資本的収支分)		4	138	152	189	240	225	235	245
小計		341	475	489	524	573	549	549	566
【参考】交付金見込総額		207	268	274	282	304	292	292	300